

令和7年度 次世代創出PBL推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	2
学校名	富山県立桜井高等学校

学校の現状と課題	<p>本校では、これまでも「行学一如」の伝統的精神に基づき、「自主・協和・創造」の校訓のもと、可能性への挑戦を続け、社会に貢献できる人材育成に向けた教育活動を推進している。</p> <p>しかしながら、今後地域や社会が大きく変化する中で、生徒一人一人がその変化と向き合い、自ら進んで学び考える意欲や態度等を育むためには、黒部市唯一の高校としての特性を生かし、地域と連携した「総合的な探究の時間」の充実を図るなど、学習指導要領の趣旨を踏まえた取組を推進することが課題となっている。</p>	
テーマ(特色)	地域と連携した課題解決学習の推進によるキャリア教育の充実	
設定した「テーマ」の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、黒部市や関係機関・企業等と連携することにより、体験的な取組の充実を図ることができた。 ・活動の経過や成果を地域に公開する機会をもち、助言を得ながらプロジェクトを進めた。黒部市内の施設等にポスターや作品を展示したり、課題研究発表会を関係の方々の一部公開して実施したりすることができた。 ・昨年度行っていたキャリア講演会(3年土木科)は実施できなかった。 	
実施内容(具体的に記入する)	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な探究の時間及び課題研究における地域課題解決型のプロジェクト学習の実施 2 地域の企業や事業所訪問、スペシャリストとの対話等体験を重視したキャリア教育の推進 	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒部市や黒部市社会福祉協議会、富山大学等と計画当初から連携し、地域の一員として本校が取り組むことができた。具体的な地域課題の設定や探究の進め方について助言いただいたことにより、その解決に向けた生徒の探究意欲を高めることができた。 ・本校OBを始め様々な地域の方や団体、企業からの協力により、より実践的な活動を進めることができた。また、地域の一員として本校で取り組むことができる課題について、意見交換することができた。 ・課題研究発表会を参観いただいた方から、生徒の学びたいという思いや目的意識が明確であったと評価をいただいた。研究内容や発表の進捗が3年間の様々な学びの集大成となり、聴講した1・2年生の学習意欲に結びついている。今後もぜひ継続し、さらなる発展を期待するとのことであった。 	
対象者(学年・人数など)	全校生徒(普通科・土木科・生活環境科 計550名)	
実施実績	4月	総合的な探究の時間及び課題研究を核とした探究的な取組の推進(～3月)(1～3年全学科) HRIにおける進路研究・各学科におけるキャリア教育の実践(～3月)(1～3年全学科) 探究講座(富山大学教授)(1年普通科)
	5月	探究講話(黒部市役所職員)(1年普通科)
	6月	企業出前講座の実施(～10月)(1・2年土木科) テーマ設定(1年普通科、黒部市市長主催の「みらい会議」参加)
	7月	地域課題(福祉)体験講座(1年普通科・生活環境科) 地域課題研究推進・フィールドワーク(～8月)(1年普通科) 富山大学訪問(2年普通科)
	8月	探究活動ポスター展示(本校他)(～3月)
	9月	探究中間ポスター発表(文化祭で展示) 体験型実習及び現場見学(1・2年土木科)
	10月	
	11月	取組のまとめ(1～3年全学科) 実地調査(～12月)(1年普通科) 地域課題ワークショップ(3年生活環境科)
	12月	研修旅行(関東方面:2年普通科・生活環境科、関西方面:2年土木科) 課題研究評価会(3年土木科・生活環境科)
	1月	総合的な探究の時間 学内発表会(1年普通科) 課題研究プレゼン発表会(3年生活環境科)
	2月	総合的な探究の時間 代表プレゼン発表会(1年普通科) 課題研究プレゼン発表会(3年土木科)
	3月	